

# 令和6年度 第3回内子町地域公共交通会議 議事概要

日時：令和7年2月10日（月）14:00～16:00

場所：内子町役場本庁 4階 第3会議室

## 議事次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議題 (1) 内子町地域公共交通計画について (2) デマンドバスの運行について (3) その他
4. 閉会



## 配付資料

- (1) 資料1 内子町地域公共交通計画について  
資料2 令和6年度実施アンケート結果のまとめ  
内子町地域公共交通計画（素案）  
地域公共交通調査事業（計画策定事業）事業評価（令和6年度）
- (2) 今後のスケジュール、他

## 委員一覧

	氏名	所属（役職）	出欠	備考
1	太田 利栄	長田自治会長	—	副会長
2	池田 匠子	内子町民生児童委員協議会 会長	○	
3	大塚 生男	内子町老人クラブ連合会 会長	○	
4	西岡 健二	内子地区住民	○	
5	上岡 豊秋	五十崎地区住民	—	
6	林 弘恵	小田地区住民	—	
7	松本 真一	一般社団法人愛媛県バス協会 専務理事	○	
8	竹中 由紀夫	伊予鉄バス株式会社 代表取締役 専務取締役	—	
9	松下 貴義	愛媛県私鉄労働組合連合会 伊予鉄労働組合副執行委員長	○	
10	増田 輝彦	国土交通省四国運輸局愛媛運輸支局 首席運輸企画専門官	○	
11	山本 美恵子	国土交通省四国運輸局愛媛運輸支局 首席運輸企画専門官	—	
12	藤本 和巳	国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所 副所長	○	
13	相原 俊史	愛媛県南予地方局八幡浜支局大洲土木事務所道路課長	○	
14	神野 晋平	大洲警察署交通課長	○	
15	喜多 秀行	神戸大学名誉教授	○	
16	倉内 慎也	愛媛大学大学院 准教授	—	
17	小野植 正久	内子町長	○	会長
18	黒澤 賢治	内子町総務課長	○	
19	亀内 重範	内子町建設デザイン課長	○	
20	窪 仁志	四国旅客鉄道株式会社 愛媛企画部長	○	
21	植西 丈晴	有限会社 内子タクシー 代表	○	
22	池田 央	池田タクシー株式会社 代表	—	

発言者	内容
1. 開会	
2. 会長挨拶	
小野植会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>町では山間部を含め 19 路線のデマンドバスを運行し、住民の生活が豊かになるよう取り組んできたが、近年は維持が難しい状況になりつつある。本計画は、これからの方向性を決めようという基本計画である。高齢化による免許返納の流れはこれからも進んでいくと思われ、移動手段の確保が重要である。町では免許返納者にタクシー代やガソリン代として補助を出しているが、財源にも限りがあり、あまり景気のいい話は出来ない。少ない費用で最大の効果が得られるように取り組んでいく必要がある。今回は計画書の素案が出されるとのことであり、様々な意見を頂きたい。</li> </ul>
3. 議題（1）内子町地域公共交通計画について	
※事務局より、資料 1「内子町地域公共交通計画について」P. 1～P. 10 を説明	
小野植会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>今の説明について何か意見はあるか。</li> </ul>
喜多委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに様々な自治体の交通計画を見てきたが、どのような交通サービスを提供するかという視点にとどまっており、住民の暮らしがどうなるのかという視点に乏しい場合が多い。P. 5 の図では、こういう内子町にしたいという将来の姿を描いており、画期的とも言える。ただし、本当に実現するのかという根拠が見受けられない。どのくらいの運賃でどのくらいの利用が見込まれ、町の財政負担がどうなるのかといったことについても検討してほしい。</li> </ul>
※事務局より、資料 1「内子町地域公共交通計画について」P. 11～P. 23 を説明	
小野植会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>今の説明について何か意見はあるか。</li> <li>方向性については示されているが、具体の部分はどうだろうか。P. 19 に「ちやがまる」が示されているが、過去に実施したものの利用者数が厳しかった経緯がある。最近インバウンドも増えており、利用してもらえるのかも知れないが、現実的にどうなるかは難しい課題である。</li> </ul>
喜多委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>3つの意見を述べたい。1つ目は、インバウンドという話もあったが、せっかく観光に来てくれた人には有意義に過ごしてほしいという思いがある一方で、観光と住民生活のどちらに優先順位をつけるのかは難しい問題である。そこで、住民向けの生活交通は観光客も利用可能であるという視点を盛り込んでどうか。</li> <li>2つ目は、P. 21②に多様な移動手段の検討と書かれているが、ライドシェア等の導入に対応できる体制づくりが重要である。ライドシェアに関しては国全体で追い風が吹いているところであり、補助事業の活用についても盛り込んでどうか。</li> <li>3つ目は、予測を立てるということであり、食料品等で売れ残りを防ぐために割引をするように、どういう予測を立てて公共交通サービスを設計するのかを示せば、会長が言われた具体の部分というのが少し埋まるのではないか。</li> </ul>
小野植会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>P. 21 に、まちなか線について書かれている。実際、まちなかに住んでいてもタクシーで外出する人は多く、回数が多いと費用も大変であるから、町としてもまちなかの公共交通は確保したい。具体的にどういう路線が考えられるのか、さらに踏み込んだ提案があるとありがたい。</li> </ul>

発言者	内容
喜多委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的なサービスについては、実際に関わっている交通事業者や利用者の皆さんに考えてもらうと良いのではないかと。多くの関係者に委員として集まって頂いているので、皆さんからも提案して頂けるとありがたい。</li> </ul>
≫事務局より、資料1「内子町地域公共交通計画について」P. 24～P. 31 を説明 資料2「令和6年度実施アンケート結果のまとめ」を説明	
喜多委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の計画は、行政が担っていた公共交通を住民協力型に大転換していくという計画である。したがって関係者は利用者とドライバーだけでなく、仕組みを動かしていく地域の自治会等も含まれる。地域との協議も行ってきていることと思うが、これまで町がやっていたことを、なぜやらなくなるのかという意見が出る可能性もある。お金のかかるフルサービスを希望するか、一部を自分たちで実行して別のことにお金を使うかは地域住民の選択であり、パブコメで住民に問うことになる。今回の計画案について、地域の人に理解してもらうという視点が重要である。</li> </ul>
小野植会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブコメの際には、これからの交通サービスについて住民に選択をしてもらうという趣旨が伝わるようにしたい。</li> <li>P. 29～P. 30 に、目標値としてA案・B案が出されている。今回、どちらかに決めておく必要がある。パブコメに出すにも、2案ある状態では出しにくい。</li> </ul>
喜多委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>国のガイドラインには、採算性に関する目標値のことが書かれ、推奨されている。それも大事だが、一番重要なのは困っている住民を減らすという視点である。利用者数を増やすという目標値が果たしてどれだけ住民生活に関係するのか。利便性が向上し、生活が良くなった結果として利用者が増えるのであれば、それはA案の指標だけで測れるのではないかと。</li> </ul>
小野植会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値で3分の1の減少を目指すというのは、どういう根拠なのか。</li> </ul>
喜多委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年後のゼロを目指し、この5年間では3分の1を減らすという目標設定である。例えば20年後のゼロを目指す、あるいは5年後のゼロを目指す、といったことも考えられるが、そこは町の選択である。</li> </ul>
小野植会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>了解した。では、目標値をどちらの案にするかここで決めたいと思う。事務局はA案で進めたいとの事だが、それでよいか。(発言なし)では、A案で進めることとする。</li> </ul>
小野植会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>他に意見が無いようであれば、「内子町地域公共交通計画(素案)」全体について、この内容でよいか。(発言なし)では、この内容で承認いただいたものとする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の計画策定については補助事業を活用しており、国へ事業評価の報告をする必要がある。関連書類を先日お送りしたが、本日も配布しているのでこの場で目を通してほしい。内容について何か意見はあるか。(発言なし)では、この内容で国へ提出する。</li> </ul>
<b>3. 議題(2) デマンドバスの運行について</b>	
≫事務局より、資料「今後のスケジュール」他、デマンドバスの運行を一般乗合旅客自動車運送から交通空白地有償運送へ変更することについて説明	
小野植会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>デマンドバスの運行について、何か意見はあるか。(発言なし) デマンドバスについては人手が足りていないので、今の説明の通りに進めていきたいと考えている。</li> </ul>

発言者	内容
<b>3. 議題（3）その他</b>	
小野植会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通して、何かあるか。</li> </ul>
増田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国では交通空白の解消を目指しており、特に来年度から3カ年で重点的に進めていく方針である。新たな補助事業も増えるので、上手く活用してほしい。「官民連携プラットフォーム」へ加入することが補助要件となる場合もあるので、検討してほしい。</li> </ul>
<b>4. 閉会</b>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は3月の開催を予定している。連続の開催となるが、またご案内させて頂く。</li> <li>・本日はお集まり頂きありがとうございました。</li> </ul>